

(1) 令和元年度 病院事業会計決算について

1 概況

令和元年度は、継続して施設基準の見直しや患者確保に努めるなど目標を掲げて経営改善に取り組んだ結果、前年度と比べ入院・外来ともに収益、患者数が増加となりましたが、冬季間において、温暖な気候となったことで重篤患者が少なかったことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により患者が減少したことで例年に比べ収益が減少となりました。加えて、減価償却費や資産除却に係る費用の増加もあり、当年度純損失は324,300千円となりました。

2 利用患者数

項 目	令和元年度	平成30年度	対前年度比較
入院患者数（延人数）	49,416人	48,589人	827人
外来患者数（延人数）	92,752人	91,877人	875人

病床利用率 67.8%（0.9ポイント増）

3 収支の状況

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	対前年度比較		令和元年度	平成30年度	対前年度比較
病院事業収益	3,478,697	3,394,499	84,198	病院事業費用	3,802,996	3,793,446	9,550

当年度純損失 324,300千円（対前年度74,647千円減）

（参 考）

※医業収益（入院、外来診療に伴う収入等） 3,111,615千円（対前年度80,680千円増）

※医業収支比率（入院、外来診療に伴う収入等） 86.0%（対前年度2.3ポイント増）

※一日当たりの単価

入院一人一日当たりの入院収益 40,335円（対前年度117円減）

外来一人一日当たりの外来収益 9,741円（対前年度223円増）

4 繰入金

一般会計からの繰入金 673,696千円（対前年度60,216千円増）

収益的収支に対する繰入金 401,120千円

（収益的収支：その期の営業活動に伴う収益とそれに対応する費用。損益計算はこれに基づいて行われる。）

資本的収支に対する繰入金 272,576千円

（資本的収支：建設改良費など効果が次期以上及び将来の収益に対応する支出とその財源となる収入）

※一般会計繰入金

病院事業は、地方公営企業であることから独立採算制（その経営に要する経費は経営に伴う収入（料金）をもって充てる）が原則であるが、①経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費 ②いかに効率的な経営によっても事業の採算性を求められることが客観的に困難な経費等については、一般会計が負担する事が地方公営企業法に定められている。

例：高度医療に要する経費、救急医療の確保に要する経費、保健衛生行政事務に要する経費など